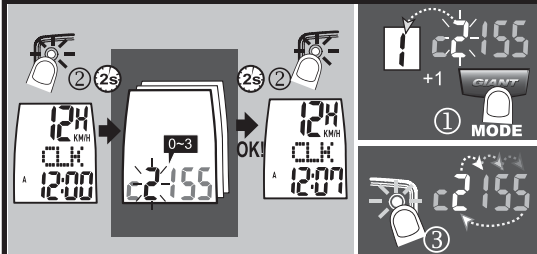
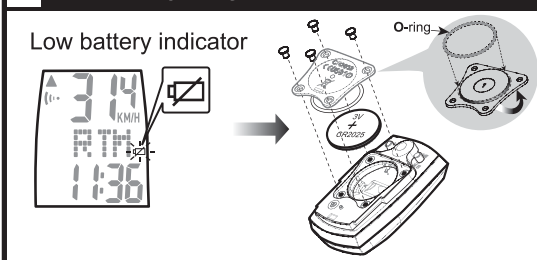


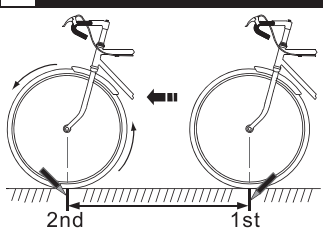
### Data Setting Mode



### C. BATTERY CHANGE



### a. WHEEL CIRCUMFERENCE



### b. POPULAR TIRES CIRCUMFERENCE REFERENCE TABLE

Tire Size	Circumference Number
18 Inch	1436 mm
20 Inch	1596
22 Inch	1759
24x1.75	1888
24 Inch	1916
24x 1 3/8	1942
26x1.40	1995
26x1.50	2030
26x1.75	2045
26x1.95	2099
26x2.1	2133
700C TUBULAR	2117
700x20C	2092
700x23C	2112
700x25C	2124
700x28C	2136
700x32C	2155
700x35C	2164
700x38C	2174
27.5 Inch	2193
28 Inch (700B)	2234
28.6 Inch	2281

## 機能の設定 (図1)

### データの初期化(システムのリセット)

記録データを全て消去します。

- 1.本製品は購入時に、すでに電池が1つ内蔵されています。
- 2.設定ボタン②と切替ボタン③を3秒押し続けると、初期設定に入り、同時に全記録が消去されます。  
注意：本メーターを初めて使用する時は、数値エラーを避けるために、システムのリセットを行ってください。
- 3.システムのリセット後、LCD表示画面は自動的にテストを行い、表示画面の数値が順に変動します。
- 4.機能ボタン①を押すとLCDのテストが停止し、この時LCD表示画面上には"KM/H"が点滅します。

### 使用単位の選択(図1)

- 1.機能ボタン①を押してキロメートル/時 "KM/H" かマイル/時 "M/H"を選択します。
- 2.設定ボタン②を押して、使用単位の選択を完了し、次の設定画面へ進みます。

### タイヤ周長の測定 (図a.)

- 1.タイヤを回転させて、バルブの位置を地平面に置き、地面に印をつけます。
- 2.バルブが再び地平面に戻るまで自転車をおして、地面に印をつけます。(体重も周長に影響するので、自転車にまたがって移動させると、より正確です)。
- 3.2点の距離を測定し、周長を入力します。
- 4.タイヤ周長参照表(図b.)は参考までに使用してください、実際に測定することをお勧めします。

### タイヤ周長の設定(図a.)

- 1.バイク1のタイヤ周長のデフォルト値は2155mmです。
- 2.バイク2のタイヤ周長のデフォルト値は2050mmです。
- 3.デフォルト設定の周長は2155mmです、実際にバイクのタイヤ周長を測定(図a.)するか、タイヤ参照表(図b.)から設定してください。
- 4.機能ボタン①を1回押すごとに数値が1つ増えます。
- 5.切替ボタン③を押し続けると、次の桁へ点滅が移動し、設定を行うことができます。
- 6.設定ボタン②を3秒押し続けると、設定を完了し、終了します。

## 機能の説明(図3)

**④ 現在の走行速度**  
走行時、常に画面上方に数値が表示されています。自転車が停止すると、速度表示を4秒持続し、ほかのデータ信号が入って来ないことを確認してから、0に戻ります。その後信号を受信しないと、最後の4秒(または2秒)の記録は差し引かれます。

### CLK 時間表示は12時間制或いは24時間制

12時間制と24時間制の2種類の表示設定があります。

### DST 走行距離

前回のデータを消去してからの走行距離を記録します。

### RTM 走行時間

前回のデータを消去してからの走行時間を記録します。

### AVG 平均走行速度

- 1.平均走行速度は走行距離を走行時間で割って得られ、前回のデータを消去してから計算を始めます。
- 2.4秒以上走行してから平均速度の計算を開始し、また1秒ごとに数値を更新します。

### MAX 最高走行速度

前回のデータを消去してからの最高走行速度を記録します。

### TMP 温度表示

- 1.自動的に環境の温度を検知して表示します。
- 2.摂氏(°C)を表示することができます。

### ODO 総走行距離

- 1.総走行距離の記録は、システムをリセットした場合を除き、消去されません。また停止状態の時だけチェックできます。
- 2.電池交換の際には、まずこのデータを記録しておき、電池交換後、累計データを再度入力してください。

### ODO1、ODO2 バイク1、バイク2、それぞれの総走行距離

- 1.総走行距離を記録します。
- 2.総走行距離の記録のため、2台のバイクのタイヤ周長を入力することができます。
- 3.画面には1台の総走行距離だけ、表示することができます。
- 4.電池交換の前に、まずこのデータを記録し、交換後累計データを再度入力してください。

### T.RT 総走行時間

- 1.総走行時間の記録は、システムをリセットした場合を除き、消去されません。また停止状態の時だけチェックすることができます。

### オートスキャン表示

- 1.機能ボタン①を押して、"SCAN"のサインが画面に現れるまで切り替えます。オートスキャンモードに入ると、5秒ごとに機能表示が自動的に切り替わります。
- 2.オートスキャンモードを停止するには、機能ボタン①を押します。

### ▲/▼ : スピードアロー

その時点の速度が平均速度よりも速い場合、スピードアローのシンボル"▲"が点滅し、平均速度よりも遅い場合は下向きのアロー"▼"が点滅します。

## ボタンと操作

### 設定モード

機能ボタン①：このボタンは、機能表示を切り替えたり、設定数値を増加させるときに使用します。  
設定ボタン②：このボタンは、数値の設定画面で次の設定項目へ移動するとき使用します。2秒押し続けると設定モードを終了します。  
切替ボタン③：このボタンを押すと、数値の設定画面で次の桁へ移動して設定を行うことができます。

### ノーマルモード

機能ボタン①：このボタンを押すと、各機能を順に表示します。  
設定ボタン②：このボタンで、機能ボタンのロック設定(図2)をオン/オフします。2秒押し続けると設定モードに入ります(自転車 1 または自転車 2 の選択(図6))。  
切替ボタン③：このボタンを押すと、バックライト機能がオンになります。2秒押し続けるとDST、RTM、AVG、MAXの数値を消去します。

### バックライト機能(図5)

- 1.切替ボタン③を押すと夜光機能がオンになり、4秒間点灯します。
- 2.バックライト機能がオンになると画面上に(●)が表示されます。

### 時間 CLK と総走行距離 ODO の設定

- 1.設定ボタン②を3秒間押しして設定モードに入り、ボタン②を押し、時間 CLK が総走行距離ODOそれぞれの設定画面へ切り替えます。
- 2.機能ボタン①を押して時間制を選択します。
- 3.切替ボタン③を押すと、次の桁へ移動し、ボタン①を押して現在時刻を設定します。
- 4.設定が完了したら、設定ボタン②を3秒押し、設定モードを終了します。

### データの消去(図4)

- 1.切替ボタン③を押し続け、LCD表示画面上に数字が出なくなったら、ボタンから手を放します。本メーターは以下のデータを消去し、再度計算を開始します：走行距離(DST)、走行時間(RTM)、平均走行速度(AVG)、最高走行速度(MAX)。
- 2.データの消去は総走行距離(ODO)、総走行時間(T.RT)、時間(CLK)のデータには影響しません。

### オートスタート/ストップ

- 1.バイクの走行を開始/停止すると、本メーターは記録データの検知を自動的に開始/停止します。
- 2."(●)"の点滅は走行状態であることを表しています。

### キーロック

コンピュータの誤操作を防止するために、ロックボタン②を押すことで、MODEボタン①をロックすることができます。  
ロックされた状態では、MODEボタン①の機能は使用できません。再びロックボタン②を押すと、キーロックを解除してMODEボタンの機能を使用できます。  
また、15分間放置すると自動的にスリープモードに入り、キーロックが作動します。再びロックボタン②を押すと、キーロックを解除できます。

### スリープモード

本メーターには省エネ機能があり、15分間放置すると自動的にスリープモードに入り、CLKだけ表示します。走行を開始するかボタンを押すと、ノーマルモード画面に戻ります。

### 電池交換(図c)

- 1.画面に"□"が表示されたら、できるだけ早く新しい電池と交換してください。
- 2.電池を交換すると、全ての記録データが消去されます。
- 3.ODOは再設定することができます。電池を交換する前にまずODO(ODO 1/ODO 2)T.RT(T.RT 1/T.RT 2)の数値を記録してください。
- 4.電池は必ずCR2025を使用し、プラス極(+)を電池フタ側へ向けてください。

### 注意事項:

- 1.保管時にメインユニットを直射日光にさらしておかないください。
- 2.メインユニットおよびその付属品は分解しないでください。
- 3.センサーとマグネットの間およびセンサーとメインユニットの距離が正しく設定されているか定期的に点検してください。
- 4.メインユニットおよびその付属品の汚れを清掃する場合、シンナー、アルコール、またはベンジンは使用しないでください。
- 5.走行時には道路状況に注意を払い、メインユニットに気をとられないようにしてください。

### トラブルシューティング

トラブル	確認箇所	対策
メインユニットに何も表示されない	1.電池が切れていませんか? 2.電池の取り付けは正しいですか?	1.電池を交換してください。 2.電池のプラス極が電池フタの方に向いているか確認してください。
速度が表示されない、速度が不正確	1.データ設定モードになっていませんか? 2.センサーとマグネットの位置と隙間は正しく設定されていますか? 3.タイヤ周長が誤っていませんか? 4.メインユニットとセンサーの距離が適しませんか? また、センサーは正しい角度に取り付けられていますか? 5.センサーの電池が切れていませんか? 6.周辺に強力な電波を発信するものはありますか?	1.[機能の設定]を参照して、データ設定を終了してください。 2.図C-aを参照し、正しい位置と隙間になるように再調整してください。 3.[タイヤ周長の設定]を参照して数値を調整してください。 4.図C-bを参照し、メインユニットとセンサー間の距離または角度を調整してください。 5.新しい電池に交換してください。 6.周辺から取り除いてください。
表示異常		[データの初期化(システムのリセット)]を参照し、コンピューターを再度初期化してください。
表示画面が黒くなる	メインユニットを長時間にわたって直射日光下にさらしていませんか?	メインユニットを日陰に置いておくことで正常に回復します。データに影響はありません。
表示の動きが鈍くなる	気温が0° C (32° F)以下ではありませんか?	気温が上がると表示状態は正常に回復します。

速度センサー: 非接触式磁気センサー  
電池のタイプ: 3.0V電池1個(型番 CR2025)  
電池の使用壽命: 約1年  
寸法と重量: 33 x 51 x 15 mm / 22.4g  
タイヤ周長の入力範囲: 1mm - 3999mm (1mm単位)  
作動温度域: 摂氏 0°C ~ 50°C  
保存温度域: 摂氏 -10°C ~ 60°C

